

合唱祭作文紹介②

「『二か月』の重み」

B組

私には今日、この一日が今までにないくらい長く、濃密な時間を感じられた。ほとんど座って他の学級の合唱に耳を傾けているだけなのに、こんなに一日が長く感じられるのはなぜか。

それはおそらく、それぞれのクラスの合唱には、曲の長さだけでなく、これまで練習を重ねてきた二か月の長さや重みが詰め込まれているからだ。どのクラスも丁寧に仕上げられていて、聴いていて引き込まれたり、心を揺さぶられたりするすばらしい合唱を披露してくれた。本番のたった数分に今まで練習してきた全てをのせるという気持ちがあったからこそ、ここまで濃い時間が生まれたのではないだろうか。

もちろんそれはB組も例外ではなく、本番で舞台に上がったとき、今までで一番全員の歌声や心がそろっているのを感じた。練習期間中に得たものを全て注いだからこそ、優秀賞という結果を得ることができたのだと思う。

次は三年生の合唱祭、中学校生活最後の合唱祭だからこそ、練習の成果だけではなく、三年間の合唱の集大成を歌声で示したい。そして、合唱祭という伝統ある行事を、後輩たちへと引き継いでいきたい。

「合唱祭」

B組

今回の合唱祭では二つのことを学んだ。

一つめは、団結することの大切さ。これは合唱祭だけではなく、部活や他の行事などでも大事だと思う。団結することでお互いの仲が深まったり、みんなで頑張ることの楽しさなどの団結することの大切さが学べるからであると思う。

二つめは、まとめる人が必要だということ。まとめる人がいなければ、まとまらないのは当たり前だし、合唱にもならない。でも、まとめる人がいるからこそ、みんながまとまってようやく合唱になる。そのために学級委員や実行委員、パートリーダーなどがいるのだと学べた。

今回の合唱祭で学んだ以上の二つのことを合唱祭で終わりではなく、日常生活にもいかしていこうと思う。まとめる人は学級委員や班長などたくさんいる。この人たちに支えられていることに感謝して過ごせていけたらいいなと思う。

